

第3学年 学年通信	轍（わだち）	H30.10.18 No.3 2
--------------	--------	---------------------

《3年生課題曲》	《3年1組自由曲》	《3年2組自由曲》
春に	あなたへ	証
作詞：谷川俊太郎 作曲：木下牧子	作詩：筒井 雅子 作曲：筒井 雅子	作詞：山村隆太 作曲：阪井一生
この気持ちは何だろう この気持ちは何だろう 目に見えないエネルギーの流れが 大地から足の裏を伝わって この気持ちは何だろう この気持ちは何だろう ぼくの腹へ胸へそしてのだへ 声にならない叫びとなってこみ上げる この気持ちは何だろう	白木蓮にも似た その白い翼で まだ見ぬ世界 未来という 果てしない空へ 旅立ってゆくのですね まばゆいほど輝いて 旅立ってゆくのですね 温かな巢をあとしして 愛と涙 そして知るだろう 人生という名の迷路の果てに 信じ合えることの喜びと 悲しみを知った分 優しくなれることを	前を向きなよ 振り返ってちゃ 上手く歩けない 遠ざかる君に 手を振るのがやっとで 声に出したら 引き止めそうさ 心で呟く ”僕は僕の夢へと 君は君の夢を” あたりまえの温もり 失くして 初めて気づく 寂しさ 噛み締めて 歩みだす勇氣 抱いて
枝の先のふくらんだ 新芽が心をつつく 喜びだしかし悲しみでもある 苛立ちだしかも安らぎがある 憧れだそして怒りが隠れている 心のダムに堰き止められ よどみ渦巻きせめぎ合い 今あふれようとする	いろんなことがあって 自分を嫌いになった なぜ僕だけがこんな目に遭うと 他人を羨んだりもしたさ 荒んだ心に刺さったのは 意外な奴の言葉だった も一度 も一度 あの空を飛べるかもしれないと思った 張り裂けるような 悲しみの行き場 煮えたぎるような 憎しみの出口 時よ おまえは見てきたのだろう 憎しみの極みを 戦いの果てを	溢れだす涙が 君を遮るまえに せめて笑顔で” またいつか” 傷つけ合っては 何度も許し合えたこと 代わりなき僕らの証になるだろう ” 我儕だ” って眨されたって 願い続けてよ その声は届くから 君が君でいれば
この気持ちは何だろう この気持ちは何だろう あの空のあの青に手をひたしたい まだ会ったことのないすべての人と 会ってみたい話してみたい 明日と 明後日が一度に来るといい ぼくはもどかしい	時の女神よ 教えてください 握り合えない手と手ならば 隔てる心の壁がいつか癒され なくなる日は くるのでしょうか 手と手をつなぎ その手をかざそう 人生という名の迷路の果てに 信じ合えることの喜びと 悲しみを知った分 優しくなれる 愛と涙 あなたの手のぬくもり 人生と言う名の迷路の果てに 信じ合えることの喜びと 悲しみを知った分 優しくなれる	君の指差すその未来（さき）に 希望があるはずさ 誰にも決められはしないよ 一人で抱え込んで 生きる意味を問うときは そっと思い出して あの日の僕らを ” またね” って言葉の儚さ 叶わない約束 いくつ交わしても慣れない なのに追憶の破片（かけら）を 敷き詰めたノートに 君の居ないページは無い
地平線のかなたへと歩き続けたい そのくせじっとしていたい この草の上でじっとしていたい 声にならない叫びとなってこみ上げる この気持ちは何だろう		溢れだす涙 拭う頃 君はもう見えない 想う言葉は” ありがとう” 傷つけ合っては 何度も笑い合えたこと 絆を胸に秘め 僕も歩き出す



- ソプラノパート
- 。入りがずれている
- 。入りははっきりと入っていない
- 。強弱記号をはっきりとつける
- 。のびの音程が下がる
- 。3連符の部分をはっきりと歌う
- 。感情を込めてうたう
- 。＜ を考える
- 。最後のffを意識する
- 。お腹で支える
- 。"えだのさきの ふくらんだ" ppを意識する

- 【第1回学年練習の評価】
- 各パートのリーダーが録音を聴いて、評価をしました。たくさんの課題が残されています。学級練習でも下記を意識しながら、練習しましょう。それが学年合唱の向上につながります！
- ＜学年練習の振り返り＞
- ～アルトパート～
 - ・出だしが弱い
 - ・アルトの声が他のパートに比べて小さい
 - ・強弱がつけられていない
 - ・のびしが弱い
 - ・地声になっている部分がある
 - ・子音がききとりづらい

- 学年練習の感想 バスパート
- 出だしが弱い所がある、ずれている。
- 声はバウバウ
- 伸ばす所が伸びていない
- 歌詞に自信がない
- （「ぼくの～」 「こころの～」 「あの空の～」 が特に）
- 言葉をはっきり

音楽記号チェックタイム！

スペースがないけど、頭に入っている限りの記号を記入してみよう。たくさん書いてね。

《3年3組自由曲》	《3年4組自由曲》
OMNIBUS STAR 光年の旅	言葉にすれば
作詞：西世紀 作曲：鹿谷美緒子	作詩：安岡 優 作曲：安岡 優・松下 耕
誰も空は飛べないけれど 誰も風になれないけれど いつも夢を翼に乗せて 旅立つ明日を夢見ている	言葉にすれば僕達がめぐり逢い 数えきれない未来 ずっと果てしなく夢を見ていたい
この星に生まれて人はみな 光年の銀河の旅をゆく 発駅不明の旅路は遥か 心の歌を響かせながら	震える声で旅立ちの名を呼べば 孤独の部屋をあなたは出てゆく 遠くへ遠くへ
青く光るこの星に乗り 小さな愛を寄せ合うように 君の瞳のなかに 幾千億の星も輝くよ	まるで砂の城のように時の波にさらわれても 握りしめた人はいつか世界のどこかで
誰も雲に乗れないけれど 誰も明日は知らないけれど いつも風に憧れ乗せて 旅立つ明日を夢見ている	言葉にすれば僕達がめぐり逢い 語り尽くせぬ想い きっと終わらない夢を運びゆく
この星に明るい日差し受け 光年の銀河の旅をゆく 着駅不明の夢物語 孤独な歌は忘れよう	誰もみな地図なき旅に 手にした言葉集め飛び立つのさ めぐり逢うためにただ
青く光るこの星に乗り 小さな愛を寄せ合うように 君の瞳のなかに 幾千億の星も輝くよ	耳を澄ませば思い出がよみがえる 見知らぬ街であなたと擦れ違い 明日へ明日へ
	心に一つ約束があればいい 小さな願いあなたが叶える 聞かせて聞かせて
	空を渡る星のように永い旅を続けるなら 見上げていた光がまた生まれ変わるまで
	言葉にすれば僕達がめぐり逢い 一人じゃないと確かめ合えるときを 言葉にすれば僕達がめぐり逢い 見つめる瞳に高鳴る喜びが あなたという名の未来の自分へ 扉を開こう重なる物語 さあ聞こえる今すぐ新たな未来がめぐり逢う

各クラスの取り組みは順調に進んでいますか？早くも文⑤まで終わりました。そろそろ曲想に突入しないと…。2日前に1・2年生の練習を見に行きました。とても良い表情で歌っていました。このままでは「入場行進」と同じ結果になってしまいます。「2年生にとられて悔しかった！（多数の生徒感想）」でいいのかな？それで3年間の2大行事を終えていいのかな？